

# HSK

# どうじん

第 59 号

昭和48年1月13日 第3種郵便物認可  
H, S, K通巻291号

発行日 平成8年6月10日  
(毎月10日発行)

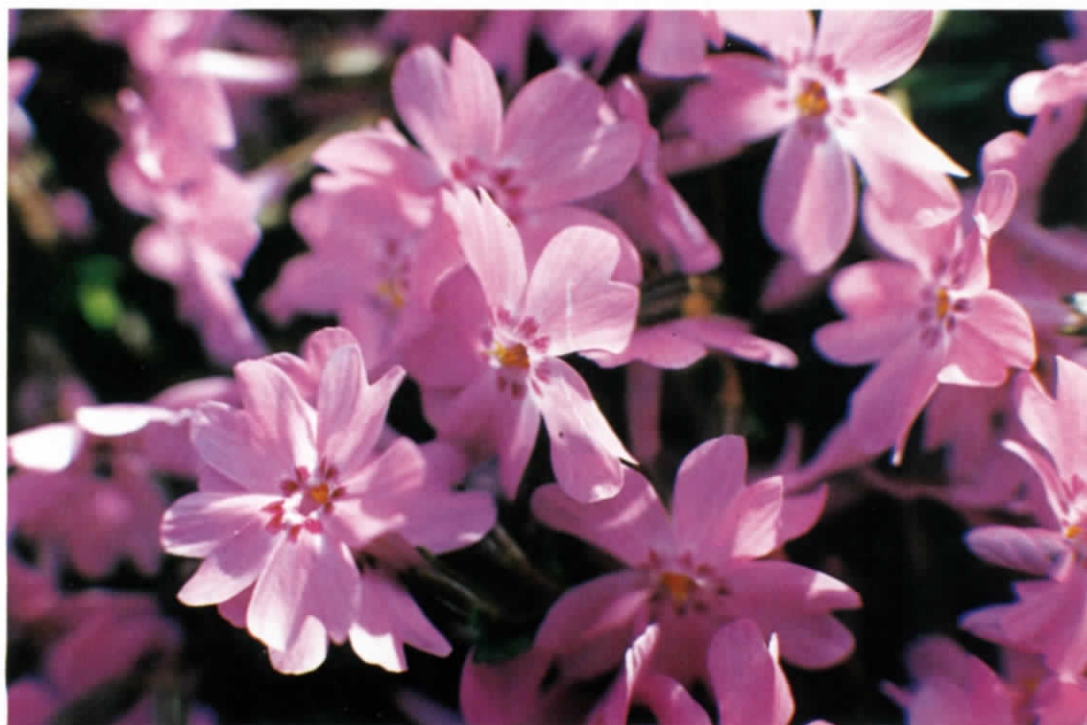
編集 北海道腎臓病患者連絡協議会  
札幌市北区北35条西5丁目1-10  
フレンズ南麻生308号

発行 北海道身体障害者団体定期刊行物協会  
札幌市西区八軒8条東5丁目4-18  
細川 久美子

平成8年 初夏号

## 第19回総会函館大会開催

北九州市で<sup>障</sup>に所得制限導入



初夏

撮影 岩崎 輝也氏

北海道腎臓病患者連絡協議会

# 萌へ出る5月

北海道腎臓病患者連絡協議会

会長 岩崎 薫



都市化とともに失われゆくと言われる人情や、ふれあいが今でも思ひき育てられているこの「サッポロ」に住んで半世紀が過ぎ、すっかり「サッポロのひと」になつてしまった。

「透析治療」という腎不全の難病に冒されてこの6月で早や20年の歳月が流れようとしている。

オホーツク沿岸から少々離れた庁舎で育てられて「サッポロ」にでてきた私は喧嘩と忙しい都会の生活に戸惑いがあった、出舎者の私は嫌気をさしたが、1年・2年と経過してゆくうちに都会の刺激が身について、どっしりと腰を下ろしてしまった。

故郷の墓参に帰つても、余りの刺激無さと寂しさが交錯して、竹馬の友人も尋ねることもなく一車千里で早々と「サッポロ」に帰つてくる状況である。

ただ故郷の川沿の明るくすいて見える林道小路には、「萌へ出る5月」の緑の木樹のなかに、緑の「ジュウタン」が敷きつめられたように自然が思ひきその

まま残っていた。その昔子供の頃遊んだ林道の川辺には「山ブドー」、「コクワ」が鈴なりになっており、ホケット一杯につめ込んでよく食べたものだった。

その林道小路にはただ何本かの懐しい見覚えのある立木が残っていた。その立木に登り遊んだ竹馬の友「日チャン」も太平洋戦争で還らぬ人となった。あの幼少の頃から60有余年の歳月が過ぎたが、カラ松林の立木はそのままの姿であり、そのカラ松林に包まれた生家には初夏の緑の立木のなかで、長く厳しい風雪に耐え、初夏の5月の陽に輝くぼりとともにさざんさんと輝いていた。

しかしここ数年山や川や森で夏鳥の姿がめつかり少なくなつたという。

ウグイスなど留鳥はいても遠い南の国から渡ってくる鳥の声は聞こえない。夏鳥たちにどんな異変が起きたのだろうか。

春から夏にかけて日本で繁殖する夏鳥の多くは、フィリピン

やインドネシアなどの熱帯林で冬を越す。熱帯林つまり安住の地がおびやかされて生息数そのものがへりはじめたのだろうか。

夏鳥たちの恋の季節だということにそのさえずりが聞こえない山や川、森、熱帯林の破壊は無論私どもの生活とは無縁のことでではないにしても、南の国から鳥達が渡ってこなくなれば、日本列島の自然の生態系も大きく崩れてくるかもしれない。

「萌へ出る5月」さああなたも元気をだして、ウグイス、「カッコウ」の夏鳥の声をたずねて美しい自然の山野を散歩して見てはいかがでしょう。

「透析」のひとときを忘れて、遠く過ぎ去ったしほしの青春を謳歌し、若かったあの頃を想ひだして明日への心の栄養剤として下さい。

それが明日に生きる長寿の秘訣になることでしょう。

5月26日

# 道腎協第19回総会函館大会開催報告

平成8年度の道腎協定期総会が、5月26日(日)函館市の湯の川温泉、花びしホテルで開催されました。前日の25日(土)の午後6時から同ホテルで、全道から3名の来賓を含め92名の仲間と交流会が行なわれ、楽しいひとときを過ごしました。

総会は、午前10時から始まり、来賓の方3名をお迎えし、全道各地より150名の会員と関係者が参加し、大盛況となりました。

はじめに、堀井和彦運営委員(札幌)の司会で開会され、昨年度に亡くなられた会員の冥福を祈って黙とうが行なわれました。

の議事へと入りました。総会の議長に、佐藤利国(室蘭)、中野龍(道南)の両氏を選出し、議事が進行されました。

それぞれ拍手で承認されました。議長解任のあと、最後に上田弘(釧路)副会長より、「総会が皆さんの



歓迎のあいさつをする田中氏(道南会長)

続いて、田中政夫道南腎協会長の「ようこそ函館へ」の歓迎挨拶ではじまり、岩崎道腎協会長が21世紀には、全国の透析患者が将来20万人を超えることで、そのしわよせが我々に関わってくることをアメリカの実情から話され、日本もそうならないよう、皆さんの一人ひとりの協力を訴えました。

来賓の3名の方からは道腎協の

活動に対して敬意を表し、今日の総会が実りあるものとなることなどの激励がありました。

祝電・メッセージは、野田孝次(道南)氏より、披露され、総会

議事に入り、川村事務局長より、平成7年度活動報告、村本会計(札幌)の決算報告、安江良和(旭川)、棚田まゆみ(札幌)両会計監査から、監査報告と続き、3件併せて一括して質疑後、拍手を持って承認されました。続いて、平成8年度活動方針案が岩崎会長、予算案が村本会計より提案され、拍手を持って承認されました。

次に、佐藤朱美運営委員(札幌)より、役員の紹介、宮本好和運営委員(札幌)からスローガン案の提案、金野香代子(道南)さんからは、総会宣言案の提案があり、



150名の出席で会場も満席



前日交流会のアトラクション

協力が無事に終了し感謝申し上げます」との閉会のあいさつで総会は終了しました。

昼食の後、午後1時から平田病院院長、平田輝夫先生を講師に「透析医療の現況と緊急災害の対策について」をテーマに医療講演会が行なわれました。

特に緊急災害対策についてのお話は、地震の多い道内においては、身近に感じるものであり、今後、我々の活動の中でも検討していかなければならない課題であると感じました。



地元函館大会で尽力された皆さん

尚、今回の医療講演の内容は、後日、機関紙「どうじん」に掲載します。

総会にあたっては、道南腎協さんの協力で150名という参加者を集められたことは、この総会が大成功であった証ではないでしょうか。皆さん本当にご苦労さまでした。

最後に、この函館総会を契機にこれからの道南腎協の活動がより一層活発になることを期待し、総会の報告とさせていただきます。

(報告：川村隆志)

ご来賓

市立函館保健所所長

石井敏明氏



函館市中央福祉事務所  
障害福祉課課長

伊在井紀宏氏



北海道道難病連函館市支部支部長

近江忠氏



祝電・メッセージ

(敬称を略させていただきます)

北海道保健環境部保健予防課長 北鳥逸夫、北海道生活福祉部障害福祉課長 佐藤年春、日本共産党道議会議員団長 大橋晃、北海道透析医会会長 今忠止、市立札幌病院腎移植科 平野哲夫、北海道栄養士会病院栄養士協議会会長 相馬愛子、函館市社会福祉協議会会長 山内源吾、キドニー学会長 松浦信博、北海道臨床工芸技士会会長 井関竹男、森永乳業(株)札幌支店支店長 熊野均、ホシ伊藤(株)代表取締役社長 伊藤寛志、バクスター(株)札幌支店透析販売部部长 酒本正昭、(株)ニプロ札幌支店支店長 森繁

〈県腎協〉

秋田、岩手、山形、新潟、茨城、埼玉、千葉、東京、川崎クリニックス、長野、静岡、石川、富山、福井、(独)滋賀、奈良、大阪、兵庫、岡山、島根、山口、香川、徳島、高知、愛媛、福岡、佐賀、大分、長崎、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄、鳥取。

# 第19回総会に 参加された

## 感想 ご意見

松岡 スイ子(江別)

透析歴 2年

第19回総会が10時より始まり、1分間の黙祷のあとに岩崎薫会長よりお話がありました。

S31年に、はじめて透析が日本で行われ、透析歴もだんだん伸びて技術的には世界一だとのことでした。色々なお話の中で、このようならばらしい透析が安心してできるのも、たくさんの先輩がご苦労をなさって今日まで支えてくれたお陰と、有り難さと感謝の気持ちでいっぱいになり、この総会に参加できたことを喜んでいきます。又、是非勉強し、力を合わせて行きたいと感じました。

貝塚 久美子(江別)

透析歴 2年9ヶ月

初めて総会に出席させていただきました。場所も函館ということ、久しぶりの観光もあわせ、片道5時間の旅となりました。

体の調子のこともあり、大変不安が先立ちましたが、仲間と一緒ということから安心して函館まで来ました。交流会では、地方の方々と少しでもお話ができ、大変勉強になることもあり、この総会に参加して本当に良かったと思います。役員の方々、色々とお世話になりました。ありがとうございました。そして、お疲れ様でした。

佐藤 敦子(旭川)

透析歴 20年

おいしい食事とたのしい交流会、立派な会場にきめこまかいお茶とキャンデーの接待等、道南腎協事務局の方々のご努力にお礼を申し上げます。

岩崎会長と見学できた函館山は思い出深いものとなりました。まだまだお元気で長生きして下さい。ハードなスケジュールに不安を

持った参加でしたが、体力の限界をあらためて認識できた旅でした。

役員の方々から敬意を表します。

金丸 洋子(札幌)

透析歴 21年

初めて交流会から総会、医療講演まで出席致しました。運営委員の皆様のご苦勞に感謝致します。

新年度にあたって、一層の会員増加を願って、日頃の透析生活を大切にして参ります。

館 由紀子(道南)

透析歴 3年

① 岩崎会長さんのお話は、一番お聞きしたかったことばかりで、とても感動しました。もつと活動のエピソードなどお聞きかせただきたいと思いました。

② 次に前から疑問に思っていたので、書いてみます。

週3回4時間の透析を受けているのに、身障者手帳が1級と3級と分かれております。手帳の等級判定では透析開始時のクレアチニン値が8以上とのこと

で、この基準をクリアしなれば1級にならないと道の担当者には説明しました。納得がいけないのは私ばかりではないはず(私は7・9で開始、かなり頭張りまして1級になりましたが、7・9で開始後すぐ9・5、11・0となりました)。

週3回の透析を受ける仲間にはみんな1級にすべきと思うのですが、如何でしょうか。

(答) 障害程度等級の判定時期は慢性透析療法実施前の状態で判定するもので、血清クレアチニン濃度が0・8 mg/dl以上が1級、0・5 mg/dl以上0・8 mg/dl未満が3級との認定基準があります。

糖尿性腎症から人工透析へ移行される患者が増えてくる現在、低クレアチニンでも透析が必要な患者が多くなつて来ており、全腎協も透析を受ける患者が、すべて1級にすべきであると厚生省に訴えております。③ 平田先生のお話は大変良かったです。透析患者の現状、緊急時の

# 9回続



平田先生

対応など、必須要件についてなどとても良かった。もっとお聞きしたかったと思います。

平田先生のご講演の内容は次号「どうじん」に掲載致します。

猪野 義明(旭川)

透析歴 16年

「はーるばる来たぜ函館」の言葉がピッタリ!!

朝早くに起きてやってきました。そんな疲れもぶっとぶ程おいしい料理と楽しい抽選会、準備してくださった役員の皆様にご苦労様と言いたいです。もちろん温泉もGOOD!!

夜景も見ることができまし、来たかいたがありました。総会では、道腎協の組織力の大切さ、国会請願の重要さを痛感しました。地元に戻って出席できなかった人達に

も説明しようと思います。今大会の関係者の皆様、本当にご苦勞様でした。ありがとうございました。

神田 真希子(江差)

ナース

今年の3月までHD室のNSとして、患者さんにかかわらせていただいていた。1日おきのHDだけでも、日常に大変なことなのに、更に自分達の仲間のために一生懸命運動されている患者さんのなにかお役に立てたらと思い、今日参加させていただきました。結果的には、なにもお役に立てませんでした。今日、自分の眼で見た光景と感じたことをNSの仲間にも伝えたいと思っています。

病気に負けず、力強く生きておられる患者さんいつも尊敬しております。

皆さん、今後も活動頑張って下さい。

天沼 玉枝(室蘭)

透析歴 15年

私達のような患者には、朝5時起床、6時出発というきついスケジュールでしたが、おもいがけな

い新鮮な海の幸を口にでき、たいへん感激してしまいました。又、たくさんの出席者、来賓の考えさせられるお話を聞くことができ、今日、出席したことを本当によかったと思います。

主人、透析歴21年目、私15年目を迎える私達夫婦ですが、これからも、二人三脚で協力していこうと思っておりますので、よろしくお願致します。

篠原 健一(室蘭)

透析歴 16年

これからも、活動応援します。

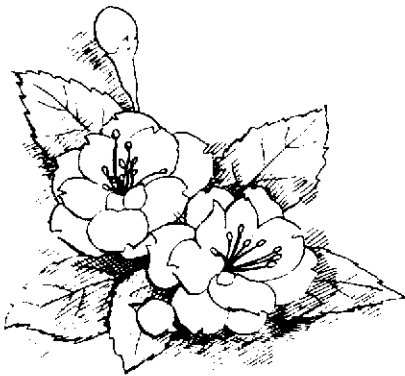
田畑 和子(南松山)

透析歴 年

道南へようこそおいで下さいました。

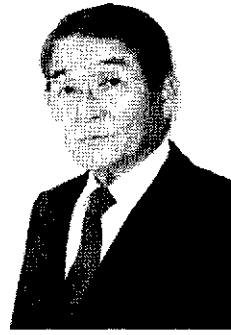
一人一人では弱い力でも、みんなで心を1つにして目的に向けて頑張ります。

今、国で1番手を入れようと思っっているのが、腎臓肝臓患者さんなのです。患者一人一人が自覚をして、権利意識を持って頑張ります。この国の国民はみんな平等に生きられるように透析年数をどんどん更新できることを心から祈っています。



# 『舞台裏の泣き笑い』

田中政夫（道南）



道腎協定例総会が、平成6年度第17回の室蘭市を皮切りに、主要な地方ブロックで順次行われることになりました。

第18回は釧路市で行われ、いよいよ今年は函館市の番になりました。平成8年のお正月はのんびり過ごし3月の声を聞き、俄然忙しくなりました。

臆げな計画は、それとなく心に描いていたのですが、いざ！実施の裏付けを取る段になると、おいそれとは行きません。

まず来賓の人選です。小生は平成2年から道南腎協会長職をやっておりますが、官公庁函館市の医師会、福祉団体などに顔は売れて

いません。自慢になりませんが。そこで市内の透析医のボス（良い意味の）に、単刀直入に事情を説明し心情を吐露した書簡を送りました。

ほどなく「逢って話を聞きましょう」と回答があり糸口がほぐれてきました。

先生にお会いし直にお話をする」と「患者会の運動に」理解があり、函館市でこんな大会を開くからには、成功させなければ！と支援を約束され、泌尿器科会の先生方に趣旨説明の労をとって戴きました。

この『ボス先生』こそ今回の医療講演会の講師をされる『平田輝夫先生』その人です。

おかげで他の先生方にも面識を得てすこし小生の顔も売れ、道南腎協の知名度も認識されました。

さて次に官公庁の折衝です。これも出先の機関と「あれこれ」問答しても、なかなか目途がつかない。本陣に乗り込もうと市役所の福祉

部を訪れ、障害福祉課長に面会しました。

障害福祉課長さんは平成8年度から「障害者プラン」にあたるどころへ、ひとつの障害者団体の会長が、飛び込んで来てくれたわけで「渡りに船」という格好になりました。

「案ずるより産むが易し」のたとえのように、よく道腎協・道南腎協を知ってもらい大会の意義も理解していただきました。

このほか、福祉団体、交通運輸、宿泊、会場などの折衝が何度か行われ、どうにか型が整い見通しがつきました。

さて、それではどこで何に泣きが入ったのでしょうか？

それは資料作りによります。顔の売れていない所への出掛け、初対面の方と話すことは苦になりません。60年余り生きて小生にも「亀の甲より齡の功」の余裕があります。

しかし、何の資料もなく手ぶらでこちらの事情を説明しても、糠に釘で効き日がありません。患者会を説明し道南腎協を説き、そうなれば道腎協から全腎協に及ぶ資料を作り、これまでの運動の成果

を挙げ、例年の運動の方針を示し、7年度の会議、運動の実績まで合った資料となりました。

私達には、内部障害者とか人1透析とかはごく普通の言葉で、改めて説明するまでもないと思っていましたが、これも簡潔に的確に説明する資料が必要でした。

普段からコツコツと準備して、研鑽を積んでおけばいいとも簡単な事であったのに……不勉強・不精の報いをもろに蒙り、逃げ場がなく、泣く泣く仕上げた資料でした。

出来上がった資料は、B5判1枚・A4判5枚と小じんまり納まり、叩いたワープロのキーボードの多さを思うと、つい愚痴が……。

とにも、かくにも舞台裏の仕掛けは懸命にこしらえました。当日のお天気だけは神さまに「日本晴」になるようお願いして、舞台の幕の上がる刻を待っています。

この一文は開幕の、約ひと月前の4月の末に書きました。「函館総会」が大成功するかそれなりに成功するか、どうにか成功するか日下まったく解りません。

が苦勞をともした会員と、何々大笑し祝杯があげられることを祈って！

# 第40回道腎協ブロック会議開催

平成8年4月20、21日の両日、

札幌市の北海道教育会館（ホテルユニオン）で役員・事務局員合計36名により、第40回道腎協ブロック会議が開催されました。

開催に先立ち、同じ仲間の逝去を悼み、全員で黙とうを捧げ冥福を祈りました。

岩崎会長からは患者会活動に触れ、エイズ問題は7年経って患者

の要望が認められました。

透析患者を見た場合、3年間の活動で誰でも無料で透析が受けられるようになったこと。それから25年たった今、その時の患者さんは全て亡くなっているが、その成果として現在、我々が生かされている現実があることを今一度確認してほしいこと。

また、小樽の患者活動により、ハイヤーチケットが透析患者に認められたことで、いかに組織が重要であるかを考えていただきたいという挨拶がありました。

次に、札幌の柳沼正一運営委員を議長に選出して議事に入りました。

## 各ブロック活動報告

○札幌 会長が長期入院しているため、会長代行を決め活動中。

○小樽 タクシーチケットが著名運動により、透析患

者に支給される事になった。

○旭川 「腎移植について」医療講演会を実施。

○稚内 料理講習会を開催。障害者ボーリング大会に参加。

○苫小牧 第22回定期総会開催。

○室蘭 登別地区に透析施設を要望。

○滝川 第10回ボーリング大会開催。

○十勝 大樹町に透析施設を要望。

○釧路 20周年実行委員会

○オホーツク 10周年記念式典開催。

○夕張 市立病院と市議会に医師の補充を要望。

他のブロックからは、役員会、新年会、各種レクリエーションを実施した旨の活動報告がされました。





# 全腎協幹事会報告

全腎協幹事

佐藤利國



全腎協第70回幹事会が3月16、17日の両日、東京・中野サンブラザにおいて開催されましたので報告します。

はじめに油井会長のあいさつがあり、次に各幹事長よりブロックの活動報告があり、その後、討議事項に入る。

小林事務局長より、1995年度下期運営委員会活動報告が資料にそって行われた。

## (1) 臓器移植法案について

今国会では審議されておらず、移植関連6団体とともに早期審議、成立を国へ要望した。さら

に今年4月以降毎週6団体にによる国会要請行動を行う予定である。ブロック組織においても地元選出国会議員に対し、陳情など強力な運動が必要である。

## (2) 日本臓器移植ネットワークの新設増について

現在、移植ネットワークのブロックが5ヶ所に分けられているが、新たに今年6月より、北海道ブロック（札幌市立病院）と、10月より中四国ブロックの2ヶ所が設置され合計7ブロックとなる。

次に移植ドナー推進運動として、腎バンク登録運動とは別に提供者が自分で臓器提供意思を記載する「ばらまき」方式のドナーカードを作成する。96年度は150万枚作成し配布する。

## (3) 障害者プラン、ノーマライゼーション7ヶ年戦略について

昨年末、総理府は1996年度から2002年度までの7年間にわたる障害者施策に関する計画を発表し、全国の市町村に対してもプランの作成を要請しました。現在検討されている公的介護保険が2年後に導入される予定であるが、要介護透析患者は介護保険には該当せず、障害者プランの中で対応するということである。しかし、常時医療を必要とする要介護透析患者にとって障害者プランはどれだけの役割を果たせるかが疑問である。

従って私たちは各地域において障害者プランへの要望、提言活動が重要である。

## (4) 災害対策マニュアルの作成について

全腎協災害対策研究班が報告書と「災害対策マニュアル」を作成し全国に配布中。

地域の腎友会は、このマニュアルを参考にして地域防災計画の中に透析医療の組込みを要請することが重要である。

## (5) 4月実施の診療報酬改定で、透析の時間区分に「5時間」が

## 新設された

この区分は全腎協の要望であり「至適透析」という面から重要である。しかし4時間透析が一般化されていることから施設の反応を注視したい。

今回の改定でダイアライゼー、4時間透析区分の報酬点数が若干下げられた。

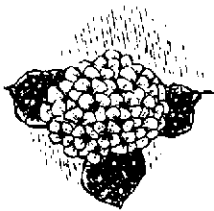
## (6) 神奈川県腎友会が4月から全腎協に加盟する旨の申請書が提出され、復帰が決定。

長野県のタクシー運転手の川野氏の裁判支援署名が短期間で14万人余集まる。

## (8) 全腎協要介護透析患者問題調査委員会が全国調査を行った

この調査の結果を基に地域活動に利用する。

以上



# ブロック紹介

## 旭川地方腎友会

旭川地方ブ

ロックは旭川

地方腎友会と

して活動しておりま

して、その歴史と、

ただいまの状況と問題点の  
対応についてご紹介します。

参考になれば幸いです。

1988年(昭和63年)石田病院、増田クリニック、そして日赤病院と市内で透析していた3病院内の患者達が結集して誕生した事になっていきます。

と言うのは、それ以前から石田病院患者会が1ブロック1患者会と言った感じで組織活動をしていて、会員数も約180名、当時会長の故松山氏は、「道腎協発足の準備会(1977年)にも参加しております。当時、各病院患者会はそれぞれ独自の活動をしており、市内各病院が結集するまでに、10年のプランクがありました。これをまとめた、

今は亡き松山氏は立派な方でした。

そして、今年が9年目、新しく開院

した、だてクリニックと旭川泌尿器

クリニックが加わり、5病院、組織

会員数約380名となっております。

全腎協札幌総会には62名の参加

者を送り、そのために2年続けて

歌謡チャリテイションをしました。

総合病院に透析設備をとの患者の

強い希望により請願運動をし、市

立旭川病院に透析設備を作ってい

たきました。機関誌も毎年発行

できるようにになりました。役員研

修会も毎年しております。

医療講演会も行っております。

昨年「腎移植ネットワークと腎移

植」でネットワークの西垣先生と

市立旭川病院の金川先生に講演し

て頂き好評でした。

いろいろ頑張つてはおりますが、

役員、同まだまだ充分な活動をし

ているとは思っておりません。

昨年、会の顧問の菅原氏が旭川

市長となり市と市議会から腎登録街頭活動に応援を頂きました。

最近の透析医療に対する展望は、

検査の包括化、透析の包括化そし

て入院給食費の患者支払いと透析

患者には痛みを伴うようになって

きております。そんな現状に加え、

国の予算と権限が地方に移行すれ

ば、地方ブロックはその真価を問

われる時代になりました。

旭川地方の透析患者数は、約7

00名おりますが、加盟率は6割

弱で最近できた透析病院の加盟を

働きかけることが急務となっております。

ります。何をやるにもまず人です。

当会の役員は老齢、あるいは透

析経年が長くその上仕事を持って

おります。

ここ数年、役員の業務能力向上

のため、役員の兼務解消、若く新

しい活動家の育成、登用を心がけ

てまいりましたが成果は少なく、

昨年は病院患者会内部を整備し、

新しい活動家の育成の下地づくり

運動をしました。加えて今年には、

特に女性活動家の育成と役員発掘

と、役員会を充実のためのテーマ

としていきます。

何をやるにも資金が必要でその

面では、昨年会費を月50円から1

00円に上げてもらいました。役

員登用に成果を期待しております。

さきほど申しましたが、役員の兼

務の多い現状と、患者なるが故の

病気のため、会の業務が遅れる場

合があるが、運用規則を作り会務

の分担業務をどの役員もわかるよ

うにして、役員の代務または、応

援をできる体制にすることを総会

で提案する予定になっています。

一みんな考えてみんなで行う患

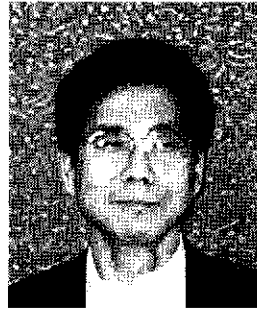
者会」今年も頑張ります。

(旭川地方ブロック幹事 佐藤)



# 医療保険改悪の準備、ひそかに進行中

運営委員 堀井和彦



4月1日の診療報酬改定で、

透析診療報酬の時間区分の「4時間以上5時間未満」が引き下げられました。この時間区分帯は大部分の透析患者が該当すると思われます。この引き下げのし寄せが患者にこないか懸念されます。

腎不全以外には、3歳未満の小児の外来と老人の慢性疾患外来がそれぞれ1回、1ヵ月ごとに薬や検査、診療が包括化(出来高払いとの選択制)

されました。また、2000床以上の病院の初診料が特定療養費化され、紹介状を持たずに受診すると患者は保険の自己負担以外の料金請求されることになりました。

この様に着実に患者への締め付けが厳しくなっています。

いま検討されているのは、健保本人の自己負担割合を現在の1割から2割に引き上げる、老人保健の定額負担を定率負担にし事実上引き上げる。また、外来の薬剤の患者窓口立替え払い制や、診療機材の保険は少しも考えられています。

北海道の透析患者は殆どが総の公費負担で影響がないと思いがちですが、全国の県では透析患者に⑧が適用されなかったり、所得制限があり、医療費を自己負担している患者もたくさんいます。最近

の事ですが、九州のある県では、薬局で薬代の自己負担分をいったん支払う所が出てきています。入院給食費も今年の10月から、現行6000円が8000円に引き上げられます。

政府はこのような「改革」を介護保険とともに平成9年度から実施したいとしています。消費税率が引き上げられる年でもあります。

現在本道においては、自己負担もなく医療費無料ですが、実態として透析医療を支えているのは医療保険です。

機関紙・その他で今後の医療・社会保障制度の情報が流されると思います。

医療保険制度「改革」論議に注視し、弱者に対する配慮の声をあげていくことが大変重要になってきます。

## ホットライン

### 入院給食費の無料化署名推進運動について

平成6年10月に北海道は「特定疾病者の透析患者の入院給食費」を有料化として議決し、明平成7年1月より実施に踏み切りました。

従来この種の患者については、食事は治療の一部であることを認め、無料化として何年もの間推移して参りました。

私共は、この種の有料化に反対のため、再三に亘って「騙知事」道会議議長」に陳情致して参りましたが、今日まで何等の返答もありませんでした。

全国47都道府県について、この問題で調査致しましたところ、平成8年度現在で、既に30都道府県が地方自治制度の名のもとに「無料化」として実施に踏み切っております。

私共は、「入院給食費の無料化」の推進運動として、患者会の署名活動により「道知事」、「道議会議長」へ10月初旬を目途に陳情を行うこととして準備をすすめておりますので、患者家族の皆様の大きな連帯の輪で、署名による「陳情書」を提出致したいと思っておりますので、どうぞ皆様の協力をお願い致します。(岩崎)

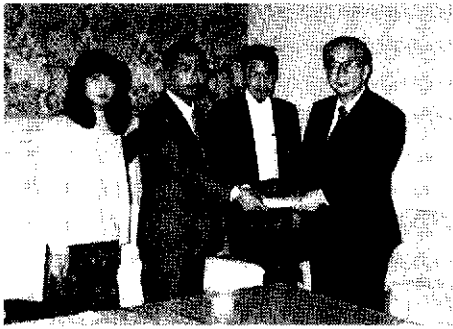
# 第25次国会請願に参加して

## 『赤いジュウタンに感激』

旭川地方腎友会

渡辺 美也子

全腎協の国会請願に北海道代表の一人としてまいりました。東京に着いて翌朝、ホテルから電車で衆議院第2会館に行き、会議室で決起集会をしましたが、何せ始めての経験、緊張と不安で一杯でした。



池端議員(右)と代表3氏

全腎協会長さんの挨拶に始まり、来賓としての議員さん達の挨拶そして事務局長さんの報告と説明、熱気のある盛大な集会でした。終わる頃には落ち着き決意も沸いてまいりました。その後、衆議院第1会館、参議院会館と関係議員に陳情に回りましたが、どちらの会館もロビーと受付があり、面会申込書(面会する議員名と室番号、そして面会人氏名記入)を受付に提出面会証の交付を受けます。受付から議員室に連絡され、OKが出てはじめて議員室に行けるのです。各室には日頃テレビで見慣れた議員さんの表札もかかっております。私達3人は、関係議員の部屋に入り北海道の皆さんから預

かった国会請願署名簿をお渡し、患者の実情を訴え、国会への紹介をお願いしました。議員不在の所もありましたが、必ず秘書の方がおられますので、秘書にお願いしてまいりました。

たまたま、院内総務の池端議員に直接お会いすることができました。そして、国会議事堂の中を見学させていただきました。廊下には、話に聞いていた「赤いジュウ

タン」。私歩きました。「超感激」でした。

すべてが初めての体験で、慣れた廣岡副会長さんの後ろに、ただくっついていただけでしたが、私にはとても勉強になりました。

これからは「患者会も地方の時代」と言われております、私も、この国会請願を通じて得た経験と感激を地方患者会の発展に活かしたいと思います。

## 『まさに「継続は力なり」』

室蘭地方腎友会(伊達日赤)

天沼 忠

3月27日(水)第25次国会請願に行つてまいりました。

なにしろ初めてのことで戸惑いばかりでしたが、気を引き締め無事目的を果たしてきました。まずは、その報告から。

いつもは、午後4時30分からの透析ですが、その日は朝8時30分からの透析に代えてもらい、14時15分道南バスターミナル、16時35分千歳空港、18時05分羽田着、無

事淡路グリーンホテルへ到着しました。

北海道からは、旭川の渡辺さんという方と2人ですが、何しろ1回も会ったことがないので、ホテルフロントで連絡をし、明日朝食を一緒にとり議事堂へ行きましょうと決め、次の日朝9時30分に淡路町地下鉄に乗り議事堂へと向かいました。

9時30分を過ぎているのに、電

車の中はギューギュー詰めで驚きました。

議員会館へは、地下鉄駅から5分位の所にあり、すんなり第2議員会館へ10時頃着きました。「さー！これから本番だ」北海道代表だと思いい、決意を新たにし行動開始。

まず、全国95万人の署名された請願書を車から下ろす手伝いをしました。その日、東京晴れ15℃位の気温で、北海道から行った私には少し汗ばむくらいでした。10時30分第2議員会館、第1会議室全国約130余名が集まり、小林事務局長、油井全腎協会長の挨拶があり、次に請願手順を話してもらいました。

その間、国会議員の方が次々とこられて日氏8人、新進6人、社民6人、参議院平成会8人、秘書32人。議員の挨拶は初めは代表者だけでしたが、後から来た議員一人一人挨拶をして、元気づけてくれました。こんなに応援してくれる国会議員がいるなんて、頑張らなければと強く思い感激しました。また、大変うれしく目頭が「ジーン」ときて胸がしめつけられる思いでした。

11時30分早めに昼食を取り、12時30分請願運動の始まりです。ところが、旧4区の議員さんはほとんど不在で、北海道の厚生委員会の方も不在でした。とても残念に思います。

ところが、池端清一議員の秘書の方が第2議員会館にみえ池端議員より連絡が入り、北海道代表の方へ「会いたいので待ってます。」とのことで池端議員の部屋へ行きました。

そこでは、お茶とお菓子が出され大変緊張しました。じつは、池端議員は議事堂におられるのと、議事堂へと案内してもらいました。

「赤いジュータン」です。凄い重圧感がありました。エレベーターやその他いろいろなのが歴史を感じさせ、ここで日本の政治すべてが決まることを思うと、また感動しました。案内してもらったところは、衆議院社民党院内総務室でした。

実は、私は知りませんでした。池端議員は社民党院内総務になっていたのです。そういう事で、池端議員はこの

部屋から出れないので第2会議室へは、行けなかったということでした。それから別室へ通されて、そこは社民党の幹部が会合をする部屋でした。そこでもお茶とお菓子がでて、とてもうれしく思いました。(手はつけられなかった)勿論、請願書はきちんと渡ししました。

その後もつと驚くことは、秘書の方が(長南さんという方)国会議事堂内をくまなく案内してくれ、写真を撮ってくれました。

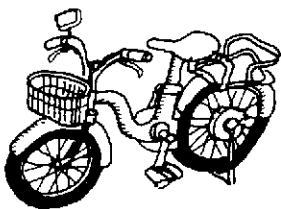
議長室にも案内してくれ、いつも土井たか子議長が座っておられるイスに座って写真を撮って戴き「人生で一番」の感動でした。

今回、国会請願署名活動に参加。上京して思うことは、25年前まだ、エボジンという画期的な薬がない時代、ヘマトが15%、20%の先輩達が息を切らせながら、各議員会館の階段を登りつめたと言う。「金の切れ目が命の切れ目！」金食い虫とも言われた時代、自分の命を守るため、家庭を守るため、血を吐く思いで国会請願に来て議員の方々にお願いをして回った。そう思うと、一名、名の名前を書いて

もらった貴重な請願書が、いま私がかうして同じことをして請願していると思うと肩に食い込むものを、強く強く感じました。

現在の透析治療は非常に恵まれていると思います。この恵まれた透析治療を25年前に逆行させることのないよう、また、新しく透析に入ってくる人達のためにも、この国会請願運動を続けなければならぬ。まさに「継続は力なり」だと思いました。

今回、第25次国会請願は「腎疾患総合対策」と、特に「臓器移植法案」の早期成立を求める要請書を渡しお願いしてまいりました。今後この経験を生かし、腎友会の会運営に新たな気持ちで頑張っで行こうと思えます。



# ブルックの便り

十勝ブロック

## 「第12回定期総会 結果報告」

去る4月28日(日曜日)午前10時より、帯広市総合福祉センターに於いて十勝地方腎友会の第12回定期総会が開催されました。



総会であいさつをする鈴木会長(右)

午前9時30分より受付を開始、十勝地方腎友会会員・家族・透析スタッフ合わせて計38名が出席しました。司会は事務局長・岡崎山紀夫氏(大野内科医院)が担当、まずはじめに出席者全員で1分間の黙とうを行い、続いて会長・鈴木茂氏(井室町立病院)の挨拶の後、来賓の挨拶がありました。当日は来賓として衆議院議員・中川昭一代議士、衆議院議員・鈴木宗男代議士の秘書・宮野明氏、北海道議会議員・清水誠一議員、帯広市長・高橋幹夫氏の代理として帯広市市民部次長・坂本一巳氏、道腎協会長・岩崎薫氏が出席されました。その中でも、特に岩崎会長は約45分間に渡り、今後予想される透析環境の見通しについて、患者が医療費の一部を自己負担しなければならなくなってきたるな



全員で記念撮影

ど、我々透析患者がいかに厳しい状況に置かれているかを説明し、無料で透析治療が受けられるようになるまでどのような経緯があったのかを語りながら、これまでの腎友会の成果と腎友会組織の大切さを訴え、ともに、出席者全員に腎友会活動への参加・協力を呼びかけられました。

また「透析20年の会員表彰」が行われ、平成7年度中に透析歴20年を迎えられました帯広クリニックの大野修氏に鈴木会長より賞状と記念品が手渡されました。その後、議長に顧問・加藤健爾氏(幸北病院)が選出され議事進行、岡崎事務局長より平成7年度活動報告、平成7年度会計収支決算報告があり、続いて会計監査・宮城金一氏(すとう泌尿器科病院)より平成7年度会計監査報告がなされました。その後、鈴木会長より平成8年度活動方針(案)、岡崎事務局長より平成8年度会計収支予算(案)が読み上げられ、質疑応答・審議されました。それらの事項すべてについて出席者の満場一致で承認された後、昼食のために一旦休憩してから役員改選が行われました。結果は、任期途中で逝去されました松田ツカさん(幸北病院)の後任として、新しく会計に島照江さん(帯広クリニック)が就任されました。

その他の役員については、会長の鈴木茂氏をはじめ、ほとんどの役員がそのまま留任ということで、平成8年度の役員が決定しました。最後に引き続き留任となりました鈴木茂会長が挨拶され、平成8年度における十勝地方腎友会の活動

に向けて抱負を述べられて、無事、第12回・定期総会は閉会となりました。

文末となりましたが道腎協の岩崎会長には十勝地方腎友会のために遠いところ来賓としてご出席いただきまして、本当にありがとうございました。

## 滝川ブロック

### 「平成8年度腎友会滝川クリニックス

### 透析者の会総会」

4月21日、滝川医師会館に於て、平成8年度の本会の総会が開催されました。折から小雨の肌寒い日であり、出席数が心配されましたが、幸い会員、スタッフなど併せて56名の参加者を得ることが出来ました。

残念な事に、会長であられた土角福寿さんの札幌へのご栄転による脱会で、ねんごろなるメッセーヂをいただき、それを代読することで会は始まりまし。上角さん、本会の為の数々のご尽力、本当にありがとうございます。

ございました。この場を借りまして厚くお礼申し上げます。決して岩崎会長のご苦勞を無駄にしないよう、これからも十勝地方腎友会の活動を盛り上げて行きたいです。  
(報告…十勝地方腎友会)

ついでご来賓の菅原院長先生のご挨拶を賜りました。前日札幌で会議があり、終了後今日の総会の為、直ちに帰られご出席くださいましたよう、国の医療費に対する抑制、特に透析医療費の膨張に対する厳しい締め付けをひしひしとお感じになられたご様子でしたが、院長先生は決して透析の質を落さないよう努力して下さるとの力強いお言葉を頂きました。続いての議長選出で、樋郡さんをお願いする事になり、直ちに議案審議に入りました。

平成7年度の事業報告、並びに決算報告が一括審議され、監査委員による監査報告を経て、全員の承認を得、つづく平成8年度の事業計画案、及び収支予算案が審議され、すべて議案書通り可決されました。

次に役員改選が行われ、土角前会長の轉出により、新しく深川から通院の宇野寧治さんが選出され、力強い抱負が述べられました。その他若干の役員交替をみて、新役員の紹介がありすべての議事を終了する事が出来ました。

最後に議長を務められた樋郡さんから、今、この厳しい医療状況の中で、我々に来る事、それは国に対する署名請願運動等に積極

的に協力して行く事だと言うお言葉があり、私達も納得、同感いたしました。

昼食後続いて菅原院長先生による講演があり、わが国に於る透析療法の推移と現況、又昨年の阪神大震災時に於る被災地の透析施設の対処、患者の動向、そして透析を支えた、あらゆる人々の対応など、胸に沁みてお話を聞きました。また北海道に於いても大災害時に対処する為のマニユアルの検討、作成に鋭意力をそそいでいるとの事でした。

午後2時、すべての日程を終える事ができました。

(報告…嘉見 照子)

### 「第10回ボーリング大会終る」

毎年恒例になっております当会のボーリング大会も回を重ねて10年目を迎えることができました。

3月3日西友滝川店タックボールにおいて、男性・女性、スタッフの三部に分れてそれぞれ優勝を争いました。

ボーリングは一時低迷と聞いて

おりましたが、再びファンが多くなったようで、当日も開店の午前10時というのに空いているレーンはなく、ロビーで待っている人がいる状態でした。幸い私達は予約してありましたのでスムーズに大会は進みましたが、みなさん日頃あまりしていないようで感をと



気合を入れて

梅んでいる人も何人かおられました。

大会は2ゲームトータルで順位を決めました。男性優勝は大野源衛さん、女性優勝は沢出ひろみさん、スタッフ優勝は看護士の稲垣粒さんでした。

11時30分すぎより会場を近くの焼肉店に移し懇親会となりました。運動後の空腹感もあり、みなさん美味しそうにいただいております。

来年も又多くの会員が参加され、会員相互の親睦を深められるよう努力していきたいと思っております。

(報告・庵 律子)

## 岩見沢プロック

### 「腎友会岩見沢クリニック患者会

### 「勉強会」開催

平成8年2月18日(日)午前10時より岩見沢観光ホテルにおいて、第4回の患者勉強会が開催されました。

今回は「血清Pの管理」について

で、日頃よりPが高いと言われている人、言われていない人、総勢50名の参加者でした。

当患者会の桑野会長の挨拶に始まり、当院の院長である千葉先生

よりPについて、わかりやすくお話して頂きました。Pの管理は難しくなかなか適正値を維持することができない。私などには、とても参考になり有意義な勉強会になったと思います。

一時間半程の勉強会の後、当日わざわざお越し頂いて頂きました岩崎会長にもお話しをして頂きました。当患者会は発足してまだ日も浅く、道腎協への加入者も少ないため、今回の岩崎会長のお話しが一人でも多くの方に加入して頂くための良い機会になったのではないかと思います。



お揃いのTシャツで



勉強会のあとで“ハイチーズ”

お話しが終わった後は少し肩の力を抜いての昼食会となり、この食品にはどれくらいPが含まれているのだろうと考えながらも、楽しくおしゃべりをしながら過ごしました。

その後は、ホテル内にある温泉に入ったり、普段は透析日がない顔を合やすことの少ない人と話をしたり、思い思いに過ごし午後2時解散となり帰路につきました。



「当日はお忙しい中、勉強会にご協力頂きました千葉院長を始めスタッフの方々、わざわざお越し頂きました岩崎会長、川村事務局長、そしてご参加くださいました方々に、この場をおかり致しまして、

心よりお礼申し上げます。

この次の患者会行事にも各自、体調を整え、ぜひ多くの方々をご参加くださいますようお願い申し上げます、今回の報告を終わらせて頂きます。

## 広報員通信



### 『みんなに感謝!』

斉藤 郁子(夕張)

で、私の両親と主人にめんどろを見てもらい、主人は仕事が終わると両親の家へ行って食事をしたりとはじめの入院の時には本当にみんなに大変な思いをさせてしまいました。

早いもので透析を始めて11年がたちました。その時2歳になったばかりだった息子が今は中学2年生、スポーツ大好き少年で、本当に健康で安心しています。  
2歳になったばかりの時、私が札幌の病院に入院してましたの

今の夕張市立総合病院に転院して精神的にはひと安心しましたが、息子が保育園に入る頃の私は何となく自分では普通と思いつつも、どこかで週三回は病院で、食事も飲み物も自由にならないと、変にひくつになっていたのを覚えていいます。保育園の他の子供達のお母

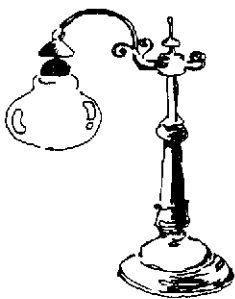
さんともなかなか仲良くなる事ができませんでした。

でもそんな私のばかげた気持ちを変えてくれたのは息子が1年生に入学した時の同じクラスのお母さん達でした。知らず知らずみんなの中に入って透析の事もかかさずみんなも変に気にせず、「この頃調子いいかい」と聞き「うん、ちよつと頭が痛くなるの、でもすぐ治るから!」と平気で答えている私がいきました。透析日にぶつからないように行事を企画してくれて、おかげで子供への絵本の読み聞かせ、キャンプ、親子レクリエーション、バザー等々私などとても経験できないんじゃないかとあきらめていた事が、みんなの明るく楽しいはげましと協力で私のできる範囲で頑張る事ができました。子供達が中学生になった今も時々会っては子供達の事や大きな声では言えませんが夫へのちよつとした不満等を話しながら楽しくやっています。

あのままみんなに会えずにいたら、どんどん落ちこんでいたんでしょうか。本当にすてきな出逢いに心から感謝しています。

そして、そんなお母さん達との出逢いを与えてくれた息子にも感謝!何かにつけて協力してくれた父母にも感謝!

もちろん、私や他の患者さんのために一生懸命やってくださっている先生、透析室のスタッフの方々にも感謝、感謝、腎友会の仲間にも感謝、そして時々いらいらしてあたる事もあるのに、この11年間一緒に歩いてくれた主人に感謝! これからも夢に向かって成長していく息子を見守りながらみんなへの感謝の気持ちをいつも心に持って明るく笑顔を忘れずに……。  
さあ明日からも頑張ろう!



# チャレンジ人生

## 田中 まゆみ (札幌)



### 一、透析までの経過

思い起こせば、今から20年くらい前の若かりし頃、なんか身体がだるく、熱が続く風邪のようなもの、何を繰り返して、るので、検査してみたたら慢性腎炎だった。何度かの人退院に加えて、2度の急性肝炎になりラパロで難治性肝炎肝硬変といふことがわかった。腹水がたまり、検査データでは生きている値ではない。あと半年か1年の命だろうといわれていたらしい。

「本人の楽天的な性格が命をすくった」と言われ、奇跡的に小康状態が続いたので8ヶ月日に退院した。動けるうちに早目に導入した方がよいとの主治医の方針で、シャントを造り待機していたが、除々に腎機能も衰え腎不全となり、82年12月27日に勤医協中央病院にて人工透析の導入となった。

### 二 現在の日常生活について

当時腎臓病の主治医だった田辺利男先生に「生き返った命は大切に。何か精神的な支えを持って生きるように」と、入院中漫画を描いているのを見て本格的に油絵をやったかどうかと勧められた。退院してから絵画の研究所で石膏デッサンから始めた。次の年、新道展に初出品し入選。受賞会友4年目

で会員となり、以来、運営委員として編集とかの仕事に携わっている。独自の表現の世界を追求したく、毎年個展を開催している。映画館の会員になっていたので、上映時間に駆けつけては、監督になったり、出演者になったり、時には我に返って観客になったりと一人何役もこなしている。自分の書籍棚のように、新刊を取り寄せてもらったりと、図書館通いもしている。今年の春からフリースクールのボランティアをしている。美術の担当で、今どきの子はボキヤブラリーが豊富なので、ちよつと乗り悪い冗談を言うとシーンと引かれてしまうこともあり、楽しくてしょうがない。病気のことで落ち込んだり、仕事でイヤなことがあった日は、透析仲間が常にいる喫茶クインテスで暮の内弁当を食べることにしている。味の程よくしみ込んだふきの煮つけを食べながら私の心は癒されていく。

### 三 食事などの自己管理で注意していること

そんな充実した日常を過ごして

いる私にとっては自己管理は重大事。戸外での製作や切りが迫ったりすると外食が多くなる。会合など終わった後の二次会、三、次会でのビールやコーヒの旨さは格別だ。これのためなら、せめて行事のない日は決められた体重をキープしようとな努力は怠らない。が、たまーに婦長さんに指導室に呼ばれて生活の点検をしていただくのもありがたいことである。

### 四 将来に対する希望

こうして2度も命を助けられ、透析ライフ14年目に入った今、社会との関わりを持ち一生懸命生きていくことで、生かさせていただいた感謝の気持ちを表したいと思っている。





## 全腎協総会に 出席して

石井典子

5月19日、東京都港区の世川記念館において第26回総会が開かれ、参加させていただきました。毎年、前日に交流会が行われるのですが、会場の都合で今回は小規模となり、オフショナルツアーもありましたが、私は、総会当日のみの参加とさせていただきます。

来賓の方々のご挨拶に続き議案書に基づき、討議が行われました。

平成7年度の活動報告では、全腎協のシンポジウムを各地で開催するなど、主軸を地域におき、更に透析の診療報酬で「5時間」枠となったように患者の要求を重視して取り組む運動の大切さなどということが報告されました。

平成8年度の活動方針としては、25年間の運動から多くの教訓を学び取り、基本方針を再確認し、今後の課題として「個別の課題の解決の重視」・「社会保障制度の拡充を求める運動の重視」・「全腎協運動の主体性を貫く」・「公益法人化の研究」などがあげられました。

午後からは、25周年記念という

ことで、分科会は行われず、公開しての談話と記念講演が記念行事としてありました。

公開しての談話では、小出先生が透析の歴史について、藤見先生がCAPDについて、大島先生が腎移植について話され、最後に皆さんが現状と展望について話し合われました。

記念講演では、能勢先生による「人工腎臓の歴史と21世紀への展望」という題でお話がありました。

参加者600名という盛大な総会に、ただただ驚きと感激を胸に帰ってきました。

このような素晴らしい機会を与えて下さったことに感謝し、よりよい透析ライフを目指して頑張りたいと思いを新たにしています。

参加させて頂き、ありがとうございました。

## 編集後記

○第19回総会函館大会も地元役員や会員の方々の活躍と協力により盛会裡に終えることができました。お疲れ様でした。

○全腎協の機関紙が、今までのB5版からA4版へと大きく様変わりしました。

すでに官報等もA4版になっており、大きな文字の為に読み易くなり、目の不自由な方にも好評です。機関紙の名称も漢字の「全腎協」から平仮名の「ぜんじんきょう」に変わったことで、人に優しい機関紙という印象を受けたのは私だけでしょうか。

本紙「どうじん」も、一歩でも「ぜんじんきょう」に近づく様に編集委員一同努力致しますので、会員の皆さん、今後ともご愛読の程よろしくお願い致します。

○皆様からのご意見、ご希望、ご投稿をお待ちしております。

○今号の発刊が遅れましたことをお詫び致します。(川村)

# データーの見方

透析患者の目安は施設により多少異なりますので医師の指示に従う事

## パート2

### (1) Ht:ヘマトクリット値

貧血の指標として皆さん方はよくご存知だと思います。ヘマトクリット値は採取した血液を細いガラス管に入れて高速で遠心分離しますと、血液中の赤血球や白血球、血小板などの細胞と液体の部分が分かれます。ヘマトクリットという名前の由来はその細いガラスの管の名前なのです。

そしてその数値は、血液全体の量と細胞部分の比率を表しています。貧血になりますと赤血球が減り、液体の部分が多くなりますので、数値が低くなります。

正常値は男性では40・2〜51・5%、女性では33・6〜44・6%ですが、皆さんの目標値は25%以上です。

### (2) 血糖

定期検査としましては、糖尿病

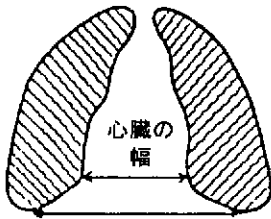
の患者さんでは測定していませんが、その他の方は測定していません。血糖値は食事と関係ありますが、

糖尿病の患者さん以外で、朝食前の血糖値が110 mg/dl以上の方は糖尿病の検査をする必要があります。糖尿病の患者さんでは、食後血糖値をできるだけ200 mg/dl未満にコントロールすることが新たな合併症を防止する為にも必要です。

### (3) CTR:心胸比

胸の大きさと心臓の大きさの比率を測り、心臓の状態を見る検査です。腎臓の悪い皆さん方ではその他に循環している血液中の水分が過剰でないかどうかを見てドライウェイトの設定の参考に使っています。心胸比は通常50%未満が正常ですが、塩分や水分の摂りすぎや高血圧の状態が長く続いている場合には大きくなります。体を流

れている血液の量は、体重の約1/13ですので、体重60kgの人で約4・6ℓです。透析前後で3〜4kg変化するのは血液のほぼ7割前後の水分が除去されることになり、心臓の大きさは透析前後で大きく異なることになり、当然血液も濃縮されます。体内に余分に貯留している水分は血管内だけでなく体の組織の間などあちこちに貯留していますので、水分は血管内に移動します。水分が血管内から除去されるスピードより血管外から血管内に戻るスピード



$$CTR = \frac{\text{心臓の幅}}{\text{胸郭}} \times 100$$

の方が遅いので、急激な除水は血管内の血液量の減少をきたし、その結果血圧が低下します。

透析前後の心胸比は大きく異なります。できれば一番体重が増えている透析前の心胸比を測定し、血圧と体の状態で適切な心胸比を覚えておかれるのが良いでしょう。

### (4) P:リン

大人の体に含まれているリンは約600〜700gです。そのうち約85%は骨に、約14%が筋肉などの細胞内にあり、血液中やその他の場所には約0・1%程度です。

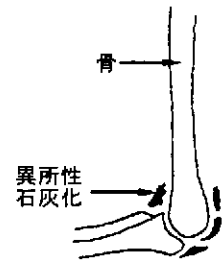
リンは骨を構成する成分として重要な働きをしていますが、そのほか細胞膜の機能を保ったり、体の活動に必要なエネルギーを作る代謝にとって重要な物質です。そのほかにも色々な作用を持っています。

リンは、ほとんどの食べ物に含ま

まれており、腸から1口0・8gのリンは尿と便から排泄されます。リンは体にとつて必要な栄養素ですが、通常の食事量では摂取不足になることはありません。むしろ最近では加工食品にリンが使われていますので、リンは摂りすぎに  
なりがちです。

腎臓が侵されて機能が低下しま

泌状態が出現します。



正常値は2・5〜4・5mg/dl

ですが、皆さん方の目標値は2・5〜5・5mg/dlです。リンが高いと、二次性副甲状腺機能亢進症や異所性石灰沈着症が発生しやすくなります。

## 北九州市で障に所得制限導入

福岡県の北九州市では、市の財政難を理由に、この3月末の定例市議会に於いて、重度心身障害者医療助成制度(障)に所得制限を導入し、7月1日より実施となった。

これまでは障の医療証があれば、透析医療費はもとより、他の病気をしても医療費の自己負担がなく、誰でも、いつでも安心して治療が受けられました。

ここ数年來、国の医療費抑制策に基づき透析医療費における検査料の定額払い制度やダイア

すと、リンはスムーズに体外に排泄されませんので、血液中のリンの濃度が上昇します。リンが高く なりますとカルシウムが低下します。カルシウムが低下しますと副甲状腺ホルモンが分泌されて骨からカルシウムを取り出し、カルシウムの低下を補正しようとします。このような状態が慢性的に続きますと、副甲状腺ホルモンの過剰分

ライザーの値下げ、透析4時間以上5時間未満の値下げ、入院給食費の自己負担等、私たちにとつて5時間透析が保険給付となった以外には好材料が見当たりません。

北九州市の所得制限額は、扶養家族なしの場合で本人の所得は4,524,000円(年収6,243,000円)という事です。

この所得制限による本人負担額は、透析医療費は最高1万円。その他の病気や入院費用は、保険本人1割負担となります。

なお、1ヶ月の合計が63,6

00円を超える場合は、高額療養費制度により後日払い戻されます。

たとえ、本人のみの所得制限とはいえ、私たちは生涯透析を続けなければならず、合併症による入院も多くなるものと思われ、その負担は大きいのです。

今回の北九州市の所得制限の導入は、自己負担が大きく、透析が受けられず、亡くなられた方が大勢いた過去の暗い時代へ、少し後戻りしはじめていることを意味し、この制度導入が全国に波及することのないように私たち患者会は断

固として阻止せねばなりません。

※重度心身障害者医療費助成制度(障)とは

重度(身障手帳1・2級)障害者の健康保持及び福祉の増進を図るために、保険診療の自己負担分を助成する制度

# 会津蔵王の旅 3泊4日

旅行期日：平成8年9月24日(火)～9月27日(金)

募集人員：35名様(家族・知人の方を含みます)・添乗員同行

旅行代金：大人(道腎協会員) **86,000円** (透析費用は別途必要です。)

(会員以外) **89,500円**

申込締切日：平成8年8月20日(火) (定員20名未満の場合は中止となります。)

## ☆日程表

日次	期日	行 程	宿泊地	食 事		
				朝	昼	夕
1日目	9月24日 (火)	10:15 (JAL842便) 11:20 新千歳空港—— <input checked="" type="checkbox"/> ——仙台空港——福島——浄土平・ 五色沼・磐梯高原——野口記念館——会津若松——ホテル	東山温泉 御宿東風	×	○	○
2日目	9月25日 (水)	08:00 ホテル——飯盛山・武家屋敷・鶴ヶ城——仙台市内—— 青葉城・瑞宝殿——仙台市内(市内にて透析) 16:00	法華 クラブ 仙台	○	○	
3日目	9月26日 (木)	08:30 ホテル——塩釜——松島海岸——五堂・瑞巖寺・ 政宗記念館——狹鼻溪——花巻温泉——ホテル 17:30	花巻温泉 ホテル 花巻	○	○	○
4日目	9月27日 (金)	09:00 ホテル——平泉——中尊寺・毛越寺——巖美溪—— 仙台市内——仙台空港—— <input checked="" type="checkbox"/> ——新千歳空港 17:00 (JAL847便) 18:10		○	○	×

※ホテルは定員ベースです。2名様、3名様利用のときはお問い合わせ下さい。

〈お問い合わせ・お申し込み先〉

〒060 札幌市中央区北5条西1丁目 日通ビル4階

日本通運(株)札幌旅行支店 旅行第2課

(運輸大臣登録一般旅行第19号/JATA会員)

TEL 011-222-4622

担当

FAX 011-232-3008

初瀬尾・北條

後援：北海道腎臓病患者連絡協議会

お肌の「乾燥」と「かゆみ」で  
お困りの方にお薦めします。

ノブオリゴマリン

保湿効果の高い糖鎖のオリゴ糖成分を配合した全量用ローションで、さらさらとした使用感でお肌をうるおいを与えます。



ノブオリゴマリン(1,000ml)

7,000円(税別) (医薬部外品)  
入国用送料別(税別)

お徳用サイズ

ノブオリゴマリン(200ml)

2,000円(税別) (医薬部外品)

臨床試験施設

九州大学、西園徳大学、  
日本大学、北里大学

他の保湿効果の高い商品も是非ご使用下さい。

ノブローブ

(除菌石鹸)

容量300g 1,000円(税別)

皮脂物のコントロール効果的殺菌  
殺菌力が高いです。

ノブキッドローブ

300ml 1,800円(税別)

赤ちゃんの敏感肌を一刻も早くして、  
髪と肌の保湿効果を高める効果  
があります。

ノブ薬用バスモイストチュア

(薬用入浴剤)

30袋入り 700円(税別)

15袋入り 3,000円(税別)

殺菌作用タイプで保湿効果の高い、世  
間最高級の入浴剤です。

お申込みは下記のフリーダイヤルでどうぞ(道管協とお申し出下さい)



0120-35-1134

※お試用のサンプルも取扱っておりますので  
フリーダイヤルへお問い合わせ下さい。

◇受付時間 午前9:00～午後5:00(土・日・祝日を除く)

◇お買い上げ金額 6,000円以上は送料無料

◇代金引換にて商品をお届け致します。

株式会社 ノブ

〒107 東京都港区赤坂7-3-37 プラウスカナダ3F

☎(03)3403-1334 FAX(03)3403-3994

## 低リンミルクL.P.K.とは

慢性腎不全の方は、良質のたん白質、必須栄養成分を適量摂取しながら、水分やリン、カリウム、ナトリウムの摂取を制限した食事を長期間継続する必要があります。特定保健用食品の第1弾として許可された低リンミルクL、P、Kは、消化吸収されやすい乳たん白質の他、カルシウム、鉄、各種のビタミンを配合したうえ、リン(牛乳の1/5)、カリウム、ナトリウムを低減してありますので、低リン食を指示されている慢性腎不全の方の食事療法に適しています。牛乳の代わりや料理の素材としてもご利用ください。



内容量  
20g×15本

## 慢性透析患者に対する低リンミルクL.P.K.の使用経験

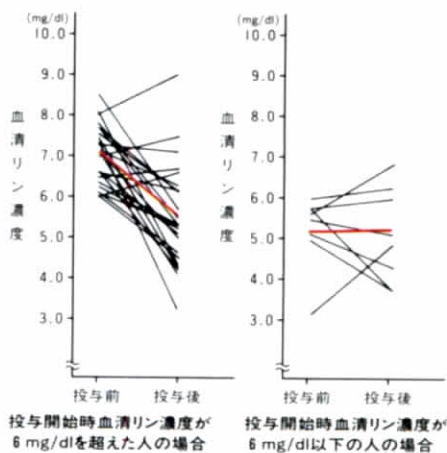
(和医大)北 裕次、阿部富弥、大塚量子 (岩見沢市立)大平整爾 (関東労災)前田貞亮、田崎綾子  
(白鷺病院)山川 真、佐藤喜久子 (福岡日赤)藤見 惺、金井英敏

[出典：日本透析療法学会雑誌(22(2)：201～204、1989)より抜粋、一部改編]

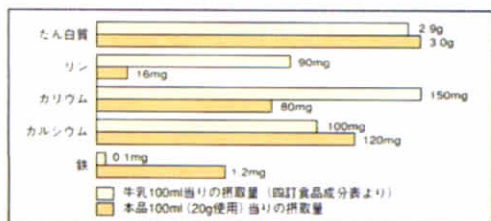
**結果** 図1は低リンミルク投与前と投与4週間後の血清リン値の変化を示す。左側は開始時血清リン濃度が6 mg/dlを超えた場合(n=24)、右側はそれ以下の場合(n=8)である。全体の投与前値と投与4週間後の平均はそれぞれ、 $6.7 \pm 1.1$ 、 $5.5 \pm 1.2$ で危険率0.5%で有意に4週間後が低い結果となった。しかし、6 mg/dl以下の人については有意差を認めなかった。

**結論** 慢性腎不全患者の高リン血症に対して低リンミルクを使用した結果、血清リン値の低下及びCa×P積の正常化が確認できた。

〈図1〉低リンミルク投与による血清リン値の変化



## 低リンミルクL.P.K.と牛乳の成分比較



札幌市白石区流通センター1丁目11番17号

森永乳業株式会社札幌支社  
低リン食品担当係

TEL (011) 865-2821 (直通)

上記低リン食品について資料をご希望の方は、官製はがきに を切り取って貼り、〒、住所、氏名、電話番号、年齢、透析年数、透析病院名をご記入の上、左記へお送り下さい。

